

株主通信 Vol.24

2014年3月期 第2四半期 2013.4.1~2013.9.30

INSIGHT & INFORMATION



株式会社 ニチダイ

NICHIDAI CORPORATION

証券コード 6467

増収減益となった上半期の挽回に向けて、 下半期は成長戦略を加速させていきます。

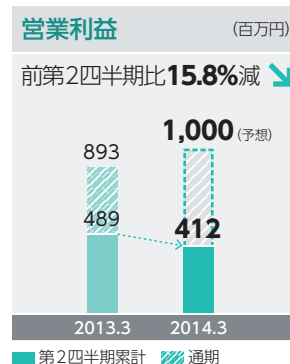
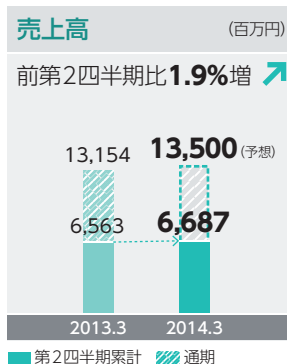


代表取締役社長
古屋 元伸

2014年3月期の第2四半期累計期間(2013年4月1日～9月30日、以下、上半期)は、連結売上高は伸ばすことができましたが、経常利益ベースで減益となりました。

3年前から取り組んできた中期経営計画は最終年度を迎えて、着実に成果を出しつつあります。下半期についても、各事業部門で成長のために必要な施策を遂行し、通期での計画達成に努めます。

第2四半期累計と通期の見通し *百万円未満は切り捨て



【見通しに関する注意事項】

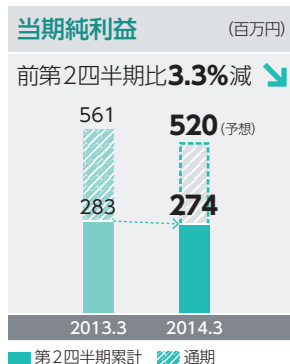
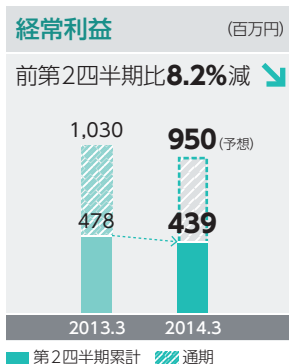
当報告書の記載内容のうち、歴史的事実ではないものは将来に関する見通し及び計画に基づいた将来予測です。これらの将来

上半期の業績概況

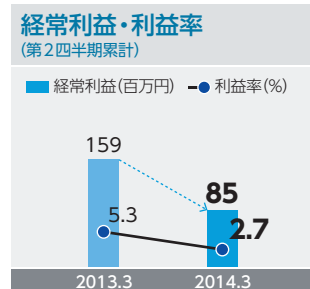
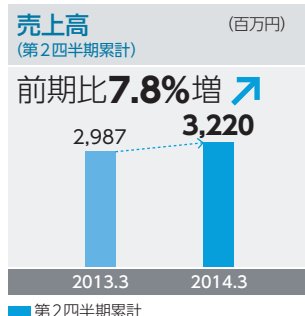
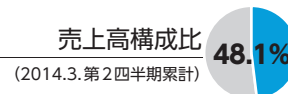
売上高は増加したものの、ネットシェイプ事業の上半期における製品構成の影響などにより、減益となりました。

当社の主要顧客業界である国内自動車産業においては、円安基調に転じた為替動向や、北米市場での販売好調などが追い風要因となりました。一方で中国市場はようやく上向きつつあるものの、ASEAN諸国を中心とする新興国市場が減速傾向となり、欧州市場も依然として低迷しています。

こうした状況を受けて、上半期の業績は、連結売上高66億8千7百万円(前年同期比1.9%増)と増収となりました。しかしながら、ネットシェイプ事業の売上における製品構成比の影響などにより、営業利益4億1千2百万円(前年同期比15.8%減)、経常利益4億3千9百万円(前年同期比8.2%減)、四半期純利益2億7千4百万円(前年同期比3.3%減)と減益となりました。

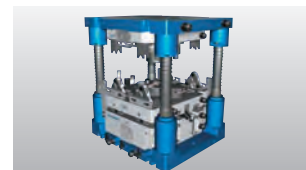


ネットシェイプ事業



上半期の業績概況

金型部門全般の売上高は、ほぼ前年並みで推移しました。しかしながら、周辺装置であるダイセットの売上高が増加する一方で、金型製品の売上が伸び悩む結果となりました。精密鍛造品部門においては、スクロール鍛造品の国内及びNICHIDAI (THAILAND) LTD.における生産増加を受けて、期初の想定以上の売上高となりました。その結果、ネットシェイプ事業の売上高は32億2千万円(前年同期比7.8%増)となりましたが、売上の製品構成が変化したために、経常利益は8千5百万円(前年同期比46.1%減)となりました。



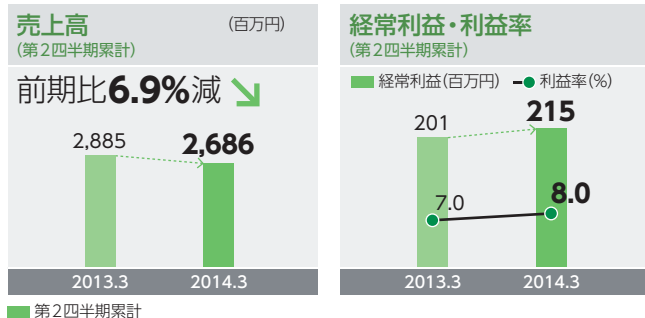
ダイセット(CG)

下半期の業績見通し

上半期後半から増加傾向となった金型需要を確実に捉える一方で、依然として堅調な需要が見込まれるスクロール鍛造品で適切な生産対応を行うことで、売上高増加を目指します。

予測には、リスクや不確定な要素などの要因が含まれており、実際の成果や業績などは記載の見通しとは異なる場合がございます。

社長メッセージ



上半期の業績概況

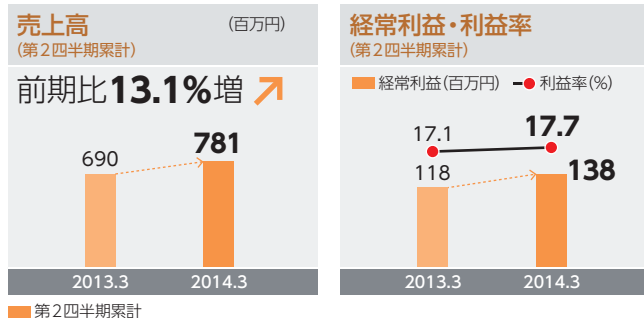
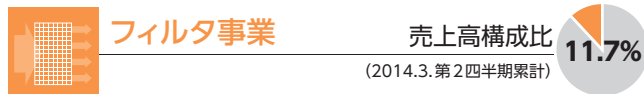
2011年に発生したタイ洪水の影響を解消するために、NICHIDAI (THAILAND) LTD.が挽回生産を行った前期と比較すると、当上半期は減収となっています。しかしながら、第2四半期より特定機種向けのターボチャージャー部品が増産となったことから、売上高は期初の見込みを超えて26億8千6百万円(前年同期比6.9%減)となりました。利益面では、前年度にタイ洪水の影響で輸送コストが増加していたこともあり、経常利益が2億1千5百万円(前年同期比7.0%増)と増益となりました。



ターボチャージャー部品

下半期の業績見通し

依然として低迷が続く欧州自動車市場などの影響は避けられないものの、特定機種向けの増産が上半期に続いて見込まれるため、期初の想定を超える売上高となる見込みです。



上半期の業績概況

国内ではヘルスケアなど特定産業向け製品が堅調に推移したことに加えて、中国向けなどの輸出製品が伸びるなど海外向け売上高も増加したために、売上高7億8千1百万円(前年同期比13.1%増)、経常利益1億3千8百万円(前年同期比17.0%増)と前期に引き続き好調を維持しました。



フィルタ製品

下半期の業績見通し

上半期に続いて中国など海外向け製品の増加が見込まれることに加えて、海外生産拠点THAI SINTERED MESH CO., LTD.を中心とするアジア地域向けの販売強化策に継続的に取り組むことで、期初の想定どおりの売上高を見込んでいます。

中期経営計画の概要

プロジェクトの集大成に向けて、 各施策の成果が出ています。

国内自動車業界は海外シフトを進めており、各社一様に海外での生産体制強化に動いています。また、環境対応の推進やコスト削減が業界共通の課題となっています。こうした状況を受けて当社グループでは、「海外展開の強化」「技術開発の推進による新市場の開拓」「顧客満足度向上による競争力強化」の3つの戦略を掲げて、2011年度より中期経営計画を進めてきました。その最終年度に当たる今期は、これまで進めてきた各施策の成果が着実に出ています。

「海外展開の強化」については、NICHIDAI (THAILAND) LTD.において、昨年開始したスクロール鍛造品の量産に続き、金型の生産も始まりました。その結果、これまで売上構成における海外比率が低かったネットシェイプ事業に関しても、今後は海外での売上向上が見込まれます。

「技術開発の推進による新市場の開拓」に関しては、ネットシェイプ事業において、7月に開催されたプレス・板金・フォーミング展「MF-TOKYO2013」に、中空工法や小型ローター部品などの技術を出展し注目を集めました。他にもいくつかの開発案件が進行中であり、さらに次の展開策の検討もスタートしています。フィルタ事業では、新たに寄せられた相談や使用提案から新規顧客開拓につながるケースが増えてきたため、ホームページを活用した情報発信や各種展示会への出展に積極的に取り組み、当社フィルタ事業の認知度向上に努めています。

「顧客満足度向上による競争力強化」については、地道にリードタイム改善やコスト削減策の推進に取り組んでおり、一定の成果を挙げています。

中期経営計画の概要

戦略 1 海外展開の強化

ネットシェイプ事業

- NDT*1におけるスクロール鍛造品量産の本格化
- NDTにおける金型生産の開始(2013年7月より開始)

アッセンブリ事業

- NDT*1での現地調達への推進および量産拠点としての体制強化

フィルタ事業

- TSM*2における石油掘削用フィルター以外の製品の生産拡大
- アジア市場におけるフィルター製品の拡販

※1 NDT: NICHIDAI (THAILAND) LTD.

※2 TSM: THAI SINTERED MESH CO., LTD.

戦略 2 技術開発の推進による新市場の開拓

ネットシェイプ事業

- 精密鍛造の新工法・新製品の開発および事業化の推進
- 小型ローター部品の事業化

アッセンブリ事業

- ネットシェイプ事業の技術開発部門との連携推進による部品開発および新製品開拓

フィルタ事業

- 新製品の拡販と新用途・新市場の開発

戦略 3 顧客満足度向上による競争力の強化

ネットシェイプ事業

- リードタイム短縮を目指した設備投資の実施

アッセンブリ事業

- サプライチェーンマネジメントの強化
- 塑性加工技術を活かしたコスト削減策の推進

President Message

社長メッセージ

通期の見通しと配当

下半期拡大する需要に的確に対応し、営業利益ベースで増収増益を目指します。中間配当は期初予定どおり8円とさせていただきます。

上半期は、ネットシェイプ事業の製品構成変化の影響などによって連結で減益となりましたが、下半期については、各事業部門における挽回策を着実に実行することにより、業績回復を目指しています。そのため、期初に発表した業績予想に変更はなく、売上高135億円(前年同期比2.6%増)、営業利益10億円(前年同期比12.0%増)、経常利益9億5千万円(前年同期比7.9%減)、当期純利益5億2千万円(前年同期比7.4%減)を見込んでいます。

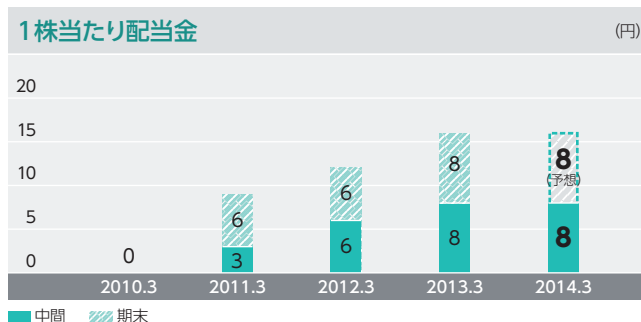
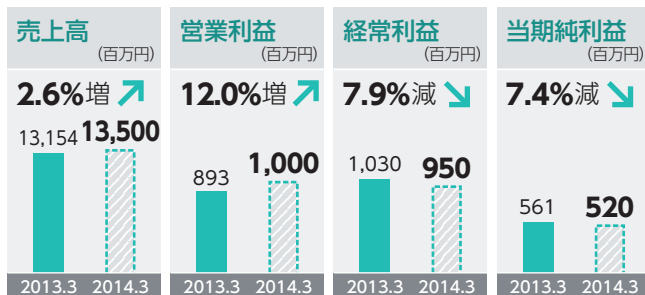
中間配当につきましては、上半期の実績及び下半期の動向等を考慮し、期初予定どおり8円としております。また、期末配当につきましても、期初予定に変更はなく8円とし、1株当たり年間16円を予定しています。

当社グループを取り巻く環境は、依然として変化の激しい



状況にあり、先行きが不透明な世界情勢の影響を免れません。そんな中で当社グループは、中期経営計画に定めた戦略を確実に実行していくと同時に、環境の変化にきめ細かく対応できる体制作りにも取り組んでいます。その上で、今年度の目標達成に向けた各施策を着実に遂行していく所存です。株主の皆様には、当社グループの現況にご理解を賜りますとともに、今後の発展にご期待いただきますようお願い申し上げます。

通期見込み *百万円未満は切り捨て





ネットシェイプ事業



製品・サービス

精密鍛造金型

- 高精度、高強度が求められる自動車部品を一発のプレスで成形
- 金属素材の切削・加熱なしで加工できる「ネットシェイプ」技術を活用
- 材料使用量を切削加工の3分の1まで削減可能
- 生産速度は切削加工と比べ5~10倍

精密鍛造部品

- 自社金型と「ネットシェイプ」技術を用いて、部品の生産・販売にも対応
- 駆動関連部品、カーエアコン用スクロール部品などを製造

トータルエンジニアリングサービス

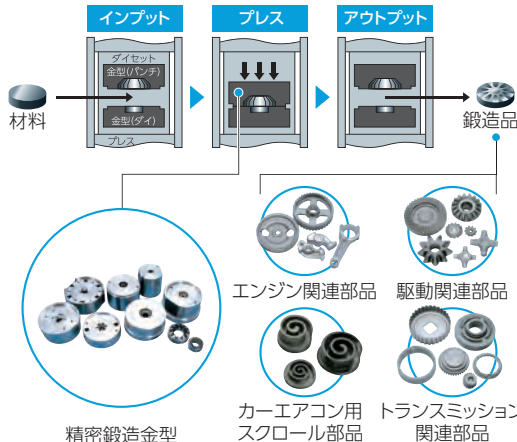
- 精密鍛造金型の研究開発から設計、精密鍛造部品の製造までサポート

ユーザー

- 国内の全メーカー系列企業に納入
- 海外メーカーとの取引も増加

精密鍛造工程

切削なしの一発のプレスで複雑な形状に成形



アッセンブリ事業



製品・サービス

VGターボチャージャー部品

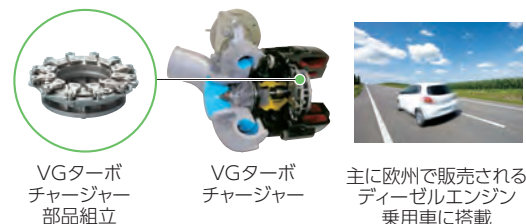
- 欧州向けディーゼルエンジン用VGターボチャージャーに搭載され、NOx^{※1}やPM^{※2}の排出削減と燃費低減に貢献
 - 独自の組立技術を確立
 - 国内とタイ工場で生産
- ※1 窒素酸化物 ※2 粒子状物質

ユーザー

- 三菱重工業株式会社製VGターボチャージャーの部品として環境規制の厳しい欧州市場で活躍

アッセンブリ事業のバリューチェーン

ニチダイ → ターボチャージャーメーカー → 欧州



フィルタ事業



製品・サービス

積層焼結フィルタ

- 独自の積層焼結技術で何枚ものステンレス金網を一体構造化
- マイクロメートル単位で均一なる孔を保持
- 高い機能的強度、耐熱・耐寒性を発揮
- 洗浄・再利用が可能

洗浄・再生サービス

- 国内工場内に洗浄設備を備え、再利用のアフターサービスにも対応できる体制を構築

ユーザー

- 石油、ガス、化学、繊維、食品から航空宇宙まで、幅広い産業で採用

各種フィルタ製品と納入している主な産業例



特集 世界の自動車メーカーが求める高精度成形を実現する

自動車のギア製作に適したネットシェイプ成形

ニチダイが提供する精密鍛造金型は、自動車の駆動関連部品、エンジン関連部品、トランスミッション関連部品などの自動車部品を製作するために使われています。

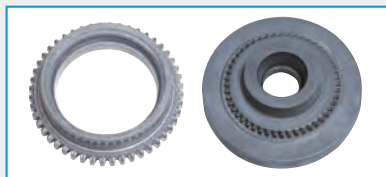
精密鍛造金型で製作される部品の形状はさまざまですが、

そのなかでも、当社の強みはギア(歯車)のような複雑な形状の部品をネットシェイプで成形できることにあります。動力を伝達するギア歯面の精度が、自動車の性能に影響を及ぼすことから、マイクロメートル単位の高精度な金型づくりをおこなっています。

ネットシェイプ技術で製作できるギアとその用途

トランスミッション

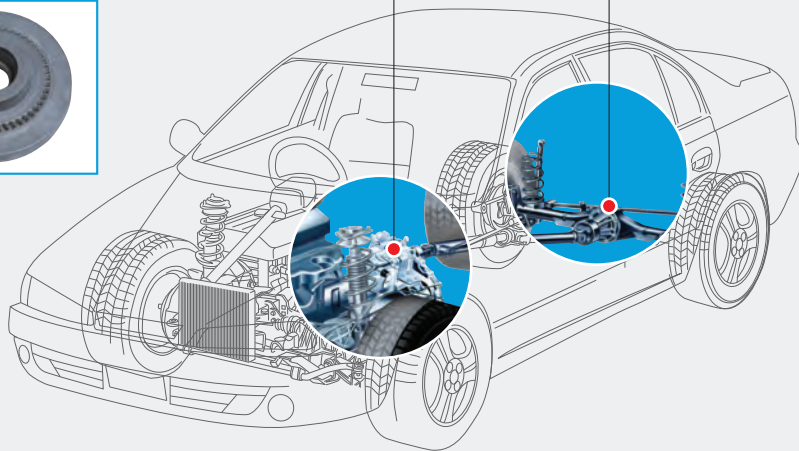
エンジンの動力を効率的に車軸に伝えるための機構



クラッチギア
変速機用に開発されたギア



ヘリカルギア
らせん状に歯が傾斜したギア



デファレンシャル

車がカーブを曲がる時に生じる、内側と外側の車輪の回転数の差を吸収する機構



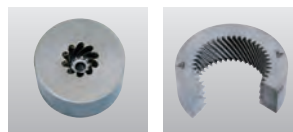
ハイポイドギア
曲がり歯をもつ傘型歯車



ベベルギア
傘のような形状をしたギア

展示会で保有技術をアピール

2013年7月に東京ビックサイトで開催された「MF-Tokyo2013」で高精度金型づくりなどの技術紹介をおこない、ハイポイドギアやヘリカルギアの高精度加工技術を紹介いたしました。今後も、当社の保有技術を積極的にアピールしていきます。



展示品金型



展示風景

ニチダイのモノづくり力

高精度金型づくりを支えるニチダイのトータルエンジニアリングシステム

自動車の駆動系やミッション系などの機構に使用されるギアは、走行時の音や振動など、自動車の性能自体に影響を及ぼします。そのため、自動車部品メーカーからは、高品質かつ高精度な金型が求められています。

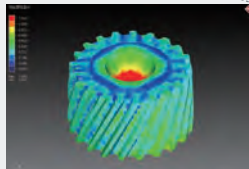
ニチダイでは、そのようなニーズに応えるため、開発、設計から金型生産を含むトータルエンジニアリングシステムを導入しています。開発、設計、製造、検査の各工程で最先端のコンピューター技術を駆使し、高品質かつ高精度な金型を開発・製作しています。

トータルエンジニアリングシステム



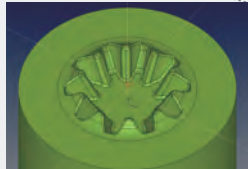
トータルエンジニアリングにおけるITツール

コンピューター技術の発展により、2次元データにとどまらず、3次元でのデータのやりとりが可能となったことで、各工程間の連携がスムーズになり、高精度金型の開発期間短縮につながっています。



CAE(シミュレーション)

設計した製品のデータを使って、強度などの特性を計算する解析システムです。試作をすることなしに性能を確認することができ、開発期間短縮に貢献します。



3D-CAD(設計)

2D-CADで描かれた図面やCAEから送られてきたデータを基に複雑な形状をコンピューターの画面上で視覚的に表現することができます。



CAM(加工)

CADで作成された形状データを入力データとして、工作機械に送り、実際の加工を行います。



CAT(計測)

三次元測定機を用いて、CAD/CAMのデータ設計どおりに加工されているかを検証しています。

3Dプリンターの活用を開始

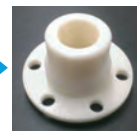
ここ数年の技術革新により、製造業においても、立体物を簡単に造形できる3Dプリンターへの関心が高まっています。ニチダイでも3Dプリンターを保有しており、試作品の形状確認などに利用しています。さまざまな技術的な課題がありますが、今後も開発・製造プロセスに活用を広げていく予定です。



3次元データ



造形用データ



造形物



3Dプリンター

2013年7月 東京ビックサイト 「MF-Tokyo2013 プレス・板金・フォーミング展」に出展

7月24日～27日に東京ビックサイトで開催された国際鍛圧機械見本市「MF-Tokyo 2013 プレス・板金・フォーミング展」に出展しました。

本展示会は、2009年より隔年開催されている塑性加工技術に関する展示会です。日本のみならずアジアの「ものづくり」企業から大きな注目を集めており、当社を含め201社の企業が参加しました。当社は今回、株式会社NTTデータエンジニアリングシステムズとの共同で展示ブースを出展しました。当社はベベルギア金型、直彫り加工した超硬金型、縦割リクロスジョイント金型、中空成形品、ローター部品など最先端技術を展示しました。

展示会場には4日間で約3万人の来場者がおり、当社ブースへも予想を上回る大勢の方にお越しいただきました。



2013年7月 東京ドーム 硬式野球部が都市対抗で初勝利

ニチダイ硬式野球部は近畿地区第四代表として第84回都市対抗野球大会（東京ドーム）に7年ぶり2回目の出場を果たしました。

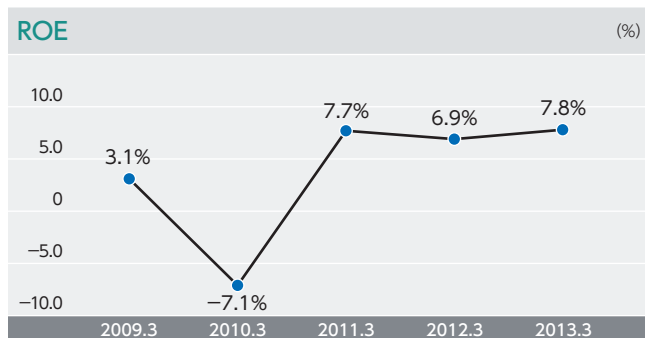
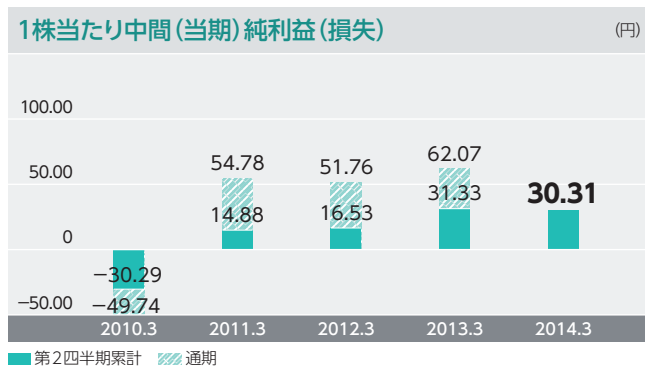
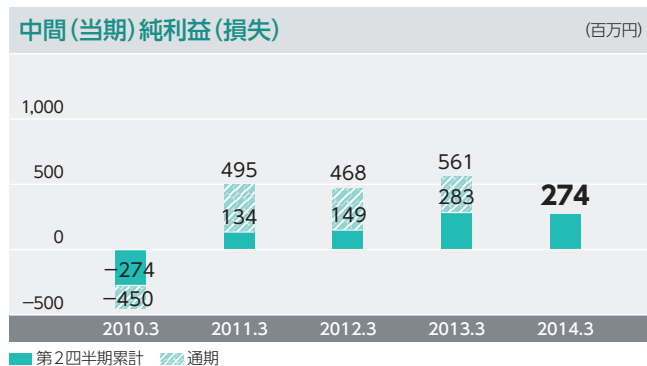
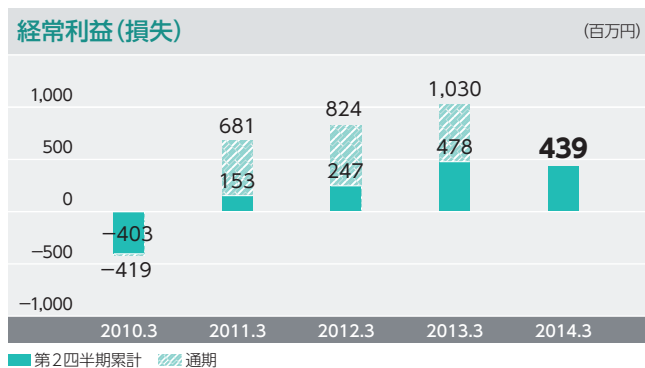
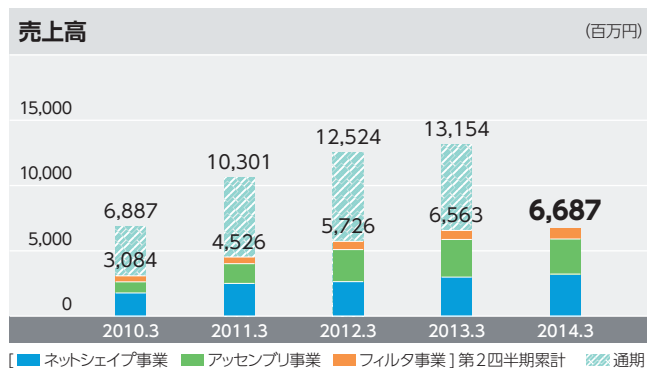
昨秋の京セラドームで行われた日本選手権大会に続き、今大会においても九州地区第一代表のHonda熊本を破り、悲願の都市対抗初勝利を勝ち取ることができました。

今回は遠方にも関わらず、社員を含め延べ約4,500人の皆さまに応援に駆けつけていただきました。これからもさらなる高みを目指しチーム一丸となって頑張ってまいります。



Financial Highlight

連結財務ハイライト



Financial Statements

主要連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円)

資産の部 科目	前第2四半期 連結会計期間末 2012年 9月30日現在	当第2四半期 連結会計期間末 2013年 9月30日現在	前連結会計 年度末 2013年 3月31日現在
(資産の部)			
流動資産			
現金及び預金	1,887	2,695	1,743
受取手形及び売掛金	3,239	3,274	3,488
たな卸資産	2,079	2,031	2,091
その他	409	310	325
貸倒引当金	△ 4	△ 3	△ 4
流動資産計	7,612	8,307	7,644
固定資産			
① 有形固定資産	5,285	6,695	6,111
無形固定資産	172	112	99
投資その他の資産	533	437	509
固定資産計	5,991	7,246	6,720
資産合計	13,603	15,554	14,365

*百万円未満は切り捨て

Check Point

① 有形固定資産の増加

NICHIDAI (THAILAND) LTD.への投資が増加した影響によるものです。

(単位:百万円)

負債及び純資産の部 科目	前第2四半期 連結会計期間末 2012年 9月30日現在	当第2四半期 連結会計期間末 2013年 9月30日現在	前連結会計 年度末 2013年 3月31日現在
(負債の部)			
流動負債			
買掛金	1,428	1,409	1,328
短期借入金	2,202	2,237	2,201
未払法人税等	110	125	110
賞与引当金	232	241	137
その他	497	859	751
流動負債計	4,471	4,873	4,529
固定負債			
長期借入金	1,524	1,571	1,369
退職給付引当金	67	67	71
その他	36	494	456
固定負債計	1,627	2,133	1,897
負債合計	6,099	7,007	6,427
(純資産の部)			
資本金	1,429	1,429	1,429
資本剰余金	1,192	1,192	1,192
利益剰余金	4,685	5,151	4,891
為替換算調整勘定	△ 185	120	△ 51
その他	0	4	3
少数株主持分	380	647	472
純資産合計	7,504	8,547	7,938
負債・純資産合計	13,603	15,554	14,365

*百万円未満は切り捨て

連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間 2012年4月1日から 2012年9月30日まで	当第2四半期 連結累計期間 2013年4月1日から 2013年9月30日まで	前連結会計 年度 2012年4月1日から 2013年3月31日まで
売上高	6,563	6,687	13,154
② 売上原価	5,230	5,327	10,542
売上総利益	1,332	1,360	2,612
③ 販売費及び一般管理費	842	948	1,719
営業利益	489	412	893
営業外収益	37	60	220
営業外費用	49	33	83
経常利益	478	439	1,030
特別利益	4	14	4
特別損失	4	2	104
税金等調整前四半期 (当期)純利益	478	451	930
法人税、住民税及び 事業税	108	124	194
法人税等調整額	45	26	92
少数株主損益調整前 四半期(当期)純利益	324	300	643
少数株主利益	40	26	81
四半期(当期)純利益	283	274	561

*百万円未満は切り捨て

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間 2012年4月1日から 2012年9月30日まで	当第2四半期 連結累計期間 2013年4月1日から 2013年9月30日まで	前連結会計 年度 2012年4月1日から 2013年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	1,142	1,226	1,608
④ 投資活動による キャッシュ・フロー	△ 754	△ 519	△ 1,005
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 458	158	△ 743
現金及び現金同等物に 係る換算差額	2	30	27
現金及び現金同等物の 増減額(△減少額)	△ 67	896	△ 112
現金及び現金同等物の 期首残高	1,500	1,387	1,500
現金及び現金同等物の 期末残高	1,432	2,438	1,387

*百万円未満は切り捨て

Check Point

- ② 売上原価
減価償却費などが増加しました。
- ③ 販売費及び一般管理費
今年度よりNICHIDAI ASIA CO., LTD./NICHIDAI U.S.A. CORPORATIONが連結対象になった影響が出ています。
- ④ 投資活動によるキャッシュ・フロー
前第2四半期連結累計期間には社債の償還による支出を含んでいます。

ネットワーク

■ 国内の主要な事業所

(2013年9月30日現在)

本 社

京都府京田辺市薪北町田13

宇治田原工場

京都府綴喜郡宇治田原町禪定寺塩谷14

熊谷営業所

埼玉県熊谷市桜木町2-88

浜松営業所

浜松市中区高丘西3-12-3 1階

名古屋営業所

名古屋市中種区桜が丘295 第8オオタビル

京都営業所

京都府綴喜郡宇治田原町禪定寺塩谷14

岡山営業所

岡山市北区辰巳22-103 TCKビル

熊本営業所

熊本市東区長嶺南1-1-7



本社



宇治田原工場

■ 関連会社

(2013年9月30日現在)

① ニチダイフィルタ株式会社

京都府綴喜郡宇治田原町禪定寺塩谷14

② ニチダイプレシジョン株式会社

京都府京田辺市薪北町田13

③ NICHIDAI (THAILAND) LTD.

Amata Nakorn Industrial Estate Phase 8, 700/882 Moo 5, Tb. Nhongkakha Ap. Phanthong Chonburi 20160 Thailand

④ THAI SINTERED MESH CO., LTD.

Saha Group Industrial Park, 99/8 Moo 5, Tambol Pasak, Amphur Muang Lamphun 51000 Thailand

⑤ NICHIDAI U.S.A. CORPORATION

15630 E State Route 12 Unit 4, Findlay, OH, 45840-9743, USA

⑥ NICHIDAI ASIA CO., LTD.

Amata Nakorn Industrial Estate Phase 8, 700/882 Moo 5, Tb. Nhongkakha Ap. Phanthong Chonburi 20160 Thailand

● ネットシェイプ事業 ● アッセンブリ事業 ● フィルタ事業



会社概要 / 株式情報

■ 会社概要

(2013年9月30日現在)

社名 (英文表記)	株式会社ニチダイ NICHIDAI CORPORATION
証券コード	6467
本社所在地	京都府京田辺市薪北町田13
創業年月日	1959年5月5日
設立年月日	1967年5月1日
資本金	14億2,992万円
従業員数	548名

■ 役員

(2013年9月30日現在)

代表取締役社長	古屋 元伸	
取締役	瀬川 秀実	営業本部長 NICHIDAI ASIA CO., LTD. 社長 NICHIDAI U.S.A. CORPORATION 社長
取締役	島崎 定	部品部ゼネラルマネージャー ニチダイプレジジョン株式会社代表取締役社長 NICHIDAI (THAILAND) LTD. 社長
取締役	畑中 恵二	生産本部長、技術・開発本部長
取締役	辻 寛和	管理本部長、経営企画室長
監査役(常勤)	萩野 雅章	
監査役	刈谷 敏彦	
監査役	溝上 哲也	

■ 当社ホームページのご紹介

ニチダイへの理解を深めていただくために、ホームページをご活用ください。



<http://www.nichidai.jp/>

■ 株式の状況

(2013年9月30日現在)

発行可能株式総数	15,500,000株
発行済株式の総数	9,053,300株
単元株式数	100株
株主数	2,624名

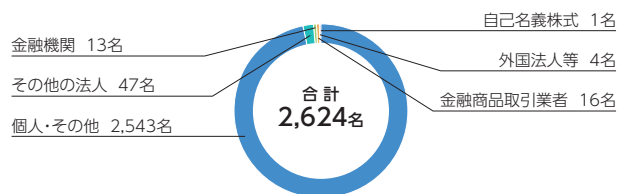
■ 大株主

(2013年9月30日現在)

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
有限会社ジャスト	885,600	9.78%
ニチダイ従業員持株会	510,544	5.63%
田中克尚	497,688	5.49%
中棹知子	282,600	3.12%
古屋啓子	272,600	3.01%
株式会社三菱東京UFJ銀行	217,600	2.40%
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	215,600	2.38%
大阪中小企業投資育成株式会社	174,000	1.92%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	170,300	1.88%
京都中央信用金庫	150,000	1.65%

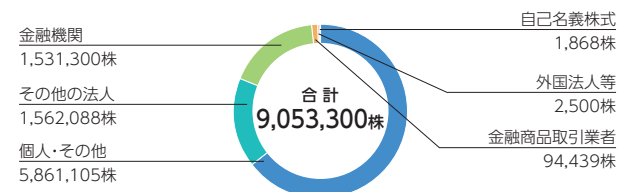
■ 所有者別分布

(2013年9月30日現在)



■ 所有者別株式数分布

(2013年9月30日現在)

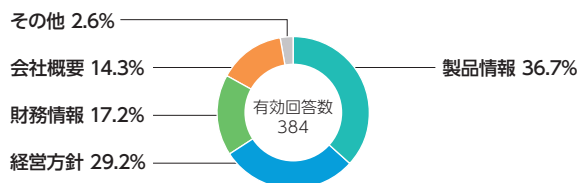


株主さま向けアンケート結果のお知らせ

2013年6月に発行した株主通信(Vol.23)で実施したアンケートに対して、多くの株主さまからご回答、ご意見をいただきました。心から御礼申し上げます。お寄せいただきました貴重なご回答、ご意見は今後の事業活動、IR活動の参考にさせていただきます。

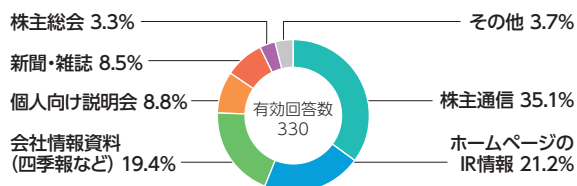
下記に、アンケート結果のうち、いくつかをご紹介します。

当社についてもっと知りたい情報



前回に続き、株主通信を通じて知りたい情報のトップは「製品情報」でした。また「3Dプリンター」に関するご質問を多数お寄せいただきました(特集ページを参照ください)。

当社の充実すべきIR活動



「株主通信」の充実を求める希望が一番多く、次いで「ホームページのIR情報」、「会社情報資料」と続きました。ご意見をふまえ、株主さまへのご要望にお応えできるように取り組んでまいります。

その他のご意見

- 写真、図解、用語解説が大変わかりやすかった。
- 新製品開発に力を注いでほしい。技術革新を進めてほしい。
- 安心して長期保有できる企業であってほしい。
- 今後の海外展開が気になる。

Investor Information

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	期末 3月31日 中間 9月30日
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL.0120-094-777(通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店
公告方法	電子公告 当社ホームページ(http://www.nichidai.jp/)にて掲載
単元株式数	100株

ご注意

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

アンケートのお願い

当社では、株主の皆さまのご満足を追求し、今後も業績情報の開示の充実にも努めてまいります。この株主通信に対するご感想、ご意見をお寄せください。つきましては同封のアンケートハガキにご記入いただき、ご投函いただきますようお願いいたします。

今後とも、ご指導ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。



株式会社 ニチダイ
NICHIDAI CORPORATION
本社 TEL. (0774) 62-3481 (代)